

ろっぼう通信

【発行】
たじま医療生活協同組合
理事長 千葉 裕

【連絡先】
〒668-0851
兵庫県豊岡市今森465番地の1
ろっぼう診療所 ☎ 24-7007
ホームページ
<http://tajima-coop.com/index.html>

第125号 2016.5.15



撮影 湊 崎 博

私たちの土地が

4000名を超えた組合員さんの出資金で、
念願だった私たちの土地が取得できました。

昨年はたじま医療生活協同組合の創立20周年、今年はろっぼう診療所の開設20周年・介護事業所えがおの10周年です。この間2004年10月のよもやの水害など、予想しない困難がいくつもありませんでした。幸い県連、全国の支援を受けながら職員、役員、組合員さんが力を合わせて乗り切りました。そして1100坪の土地を持つことができました。そして1100坪の土地を持つことができるまでになりました。

私たちが所属する全日本民主医療機関連合会（略称・民医連）は、北海道から沖縄まで職員数約8万人、1810の事業所を持つ組織です。兵庫県の民医連は1953年、1軒の民家を借りた診療所から出発し、現在は6法人で組合員さん15万人、3200人の職員、4病院、26診療所、その他113事業所が活動しており、その中には2つの特別養護老人ホームや給食センター、デイサービス、小規模多機能施設などが運営されています。

組合員さんの出資金でできている私たちの医療生活協同組合は、組合員さんが増えれば力も強まり医療や介護の要求も発展します。その要求に応えていくために施設・設備を充実させ職員も成長していく組織です。この20年の力を土台に、さらに10年先を展望しながら、組合員・患者さんにとって何が一番重要なかを十分に検討しながら、次の事業を成功させましょう。（N）

*詳細は別紙をご覧ください

第21回通常総代会に向けた支部総会が、3月19日の新田・中筋支部から始まり、順次行われました。各支部で活発な話し合いが行われ、総会終了後は色々なイベントで親交を深めました。

新田・中筋支部

新田地区公民館で行いました。支部独自の行事だけでなく、他支部との共同企画や診療所の企画にも参加しようと確認しました。総会後は組合員のマジックショーを楽しみました。



華麗なマジックに拍手喝采

出石支部

西野支部長宅で行いました。グラウンド・ゴルフ大会に積極的に参加しようという声や、建設計画に期待する声がありました。

また2016年度は支部長を、山本三郎さんとすることに決まりました。

北西支部

小田井町にある、古民家をリフォームした「ひびき」で行いました。グラウンド・ゴルフ大会に参加して、盛り上げようという声があがっていました。

また、支部を活発にしているような班会などができればいいねという組合員もいました。

神美支部

神美地区公民館で行いました。総会に先立って看護師が、ABC検診について話をしました。

また、支部長に村尾八恵子さんが選ばれ、新体制でいくことになりました。

やぶ支部

はざまじり山の森公園で行いました。支部活動を活発に行い、組合員同士の交流が進んでいると報告がありました。

建設計画については、組合員に対しての説明をもっとすべきではないかという意見が出ました。

きたみ支部

津居山サテライトで行いました。ろっぽう通信の仕分けの日が集まるだけでなく、積極的に支部のたまり場にしていこうということになりました。

また、何回か行っている健康の話や、リハビリ体操など

但馬各地で支部総会
6月25日の総代会に向けて
活発な意見が出される

もしてほしいという意見が出ました。

亀城支部

喫茶「ぼっか」で行いました。ハイキング班は、他支部との共催で広がりを見せていました。

また、健康まつりへの参加が続けてできていることなどが報告がありました。

美方支部

香住文化会館で行いました。昨年度は健康チャレンジへの取り組みが進んだという報告がありました。

また、介護事業を美方方面にも広げてほしいという要望が出されました。

5月25日(水)に香住の遊覧船に乗って、ふるさとを海から見ようということも決まりました。



日高支部

農村改善センターで行いました。えがのケアマネジャーが参加し、日高地域への介護事業の展開について議論がなされました。

ろっぽう通信手配りさんが2人増えたことが報告されたほか、恒例の年末餅つき大会を今年は12月28日に行うことが決まりました。

朝来支部

竹田コミュニティセンターで行いました。毎年行っているバーベキュー大会やウォーキングなど、組合員相互の要望を聞きながら、仲間ひやしや増資に向けてがんばっていること確認しました。

鶴城支部

三江地区公民館で行いました。他支部との合同でハイキングを行い、予想以上の参加者で成功しました。

また、ろっぽう通信の手配り100%を継続するために、手配りさんを増やす取り組みを進めていこうと話合いました。

昼食後はえがのヘルパーの越智さんが中心となって、体を動かしながらの認知症予防で盛り上がりました。



手を使いながら歌を歌って認知症予防

ついに4000名組合員達成!

以前から「創立20周年の2015年度に、4000名組合員を達成しよう」ということで取り組んできました。そしてついに3月9日、目標を達成しました。これも、各支部で積極的に訪問活動等に取り組んで頂いたおかげです。ありがとうございました。なお2015年度は2022人の新しい組合員を迎えました。今後だしま医療生協は「医療・介護・組合員活動の調和した新施設の建設計画」をすすめていきたいと考えています。その上でも、医療生協を支えていただく組合員を増やしていくことが大切です。建設に関する委員会では、地道な訪問活動をしてはどうかという意見が出ています。引き続きご協力をお願いします。

但馬の医療・介護を考えるつどい

4月17日(日)じばさんたじまでつどいを開き、37人が参加しました。第1部は、兵庫の地域医療を守る会の今西清さんが講演をされました。「地域医療構想とは、団塊の世代が後期高齢者になる2025年に向けて、医療費抑制をねらった病床削減・再編を求めらるものである。但馬地域では



今西さん

今後さらに高齢化が進み、病床が必要になるにも関わらず、現在の稼働病床数よりも減らすようとしている」という報告がありました。また「平成30年4月から国保は市町と県の共同運営になる。市町の担当者の中には、県から下りてくる話に戸惑う人もいるだろう。今後こういう人との連携も必要ではないか。」という話もありました。第2部は「但馬の医療・介護の現状と課題」ということで、各公立病院からの報告があり、医療生協からは介護について



4000人目の方に記念品を贈呈しました

の話をしました。最後に「オール但馬の共同を広げて、地域医療を守っていきましよう。そのためには『兵庫の地域医療を守る会』が支援します」という心強いお言葉をいただきました。



第2部

市役所 出前講座開催

4月15日(金)じばさんたじまで「私も地域も元気に!歩いて暮らすまちづくりのすすめ」というテーマで豊岡市役所出前講座を開催しました。歩くことで脳までしっかりと血液が送られます。それが認知症予防につながるのとことでした。日常歩数も含めて1日8000歩くらいがちょうどよいという研究結果もあるようです。



たじま医療牛協の健康チャレンジに、ウォーキングで参加している方もあります。そうでない方も無理せず、少しずつ歩く距離を増やして、心も体も元気にしましよう。

理事のつづき

小牧 忍

草や木が芽吹き、緑の季節となり、今年もつばめが帰ってきました。

4年間理事をしてきました。が、4月からろっぽう診療所職員としてお世話になって

います。くらしの助け合い「なんなつと」で事務局を担当しています。

「なんなつと」がスタートして1か月になります。地域の方から「買物に行きたい」「草取りができない」「掃除ができない」「通院ができない」「ゴミを出してほしい」など、これまで当たり前できていたことができなくなってきたという相談が、毎日のように寄せられています。一人暮らしの高齢者が増え、老々介護などでお互いの見守りは困難となり、介護保険のサビも満足に使えない。それを支える若者は日中ほとんどいない。動き始めたばかりですが、地域の課題が見えてきはじめました。

ろっぽう診療所は患者さんの立場に立った、親切でよい医療をすすめる、地域の方のいのちと健康を守る診療所です。なんなつとの助け合いを通じて、高齢者も住民も安心して暮らせるまちづくりを進めることができればと思っております。

「なんなつと」でも結構です。困ったことがありましたら、なんなつとにご相談ください。一緒に考えていきたいと思います。

虹のひろば



神美支部

グラウンド・ゴルフ

冬季はお休みしていましたが、4月8日久しぶりに行った班会には、19人が参加しました。本部から参加した職員は本意な成績だったらしく「道具を買って練習します。次はホールインワンを出しますよ」と意気込みを語っていました。

亀城支部

ハイキング班

4月16日(土)青倉山登山に8人が参加しました。

青倉神社近くの桜は散っていましたが、木々の芽の黄色がとても美しかったです。

峠からの尾根道はあまりの急勾配で、全員ダウンしてしまいました。それでも帰り道に多々良木ダムや、芸術の森の数々の作品と八重桜を見ることができ、一日楽しめました。



美方支部

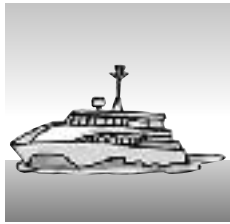
「かすみ丸」に乗船しよう

香住海岸の奇岩や洞門の連続する断崖は、山陰海岸ジオパークに指定されています。

遊覧船「かすみ丸」は今年の秋11月30日で終了とのこと。海からの香住海岸が見られなくなる前に、みんなで乗船しようという計画を立てました。ぜひご参加ください。

◎乗船日 5月25日(水)

美方支部以外の方もお待ちしています。事務局までご連絡をお願いします。



日高支部

グラウンド・ゴルフ日高

冬場は出石いきいきドームで行っていましたが、4月からは以前と同じように「円山川防災センター(日高町西芝)」で行います。支部外からの参加者もあります。

医療と法律⑤

豊岡合同法律事務所
弁護士 木下 和茂

Q…介護施設で働いていますが、気を付けて食事の見守りをしていますが、食べ物や飲み物がうまく飲み込めない「嚥下障害」の方の誤嚥が心配です。誤嚥性肺炎などは、生命に関わります。誤嚥による事故も、責任を問われるのでしょうか。

(前回の続き)

3 誤嚥防止義務

その利用者さんについて誤嚥が予見される場合には、病院・施設側には安全配慮義務の一内容として、誤嚥防止義務が生じます。裁判例で争点になることが多いのはこの部分です。

(1) 提供した食事が適切だったかが争われた事例

尿路感染症治療のため病院に入院中だった高齢者がおにぎりを誤嚥して窒息し、意識が回復しないまま11ヶ月後に呼吸不全で死亡した事例では、事前に誤嚥の恐れは指摘されていたものの、当該患者の栄養状態改善が重要事項となっていたこと、おにぎりは

患者本人の希望に沿って提供されたものであったこと、これまでおにぎりを摂食した際におせたことはなかったことから、おにぎりを提供したこと自体は過失ではないとされました(福岡地判H19・6・26)。

進行したり、誤嚥性肺炎の発症の可能性があると説明がなされていたこと、食事に際しておにぎりの状態が続いていたことなどからすれば、施設としては、介護職員が①覚醒をきちんと確認しているか、②頸部を前屈させているか、③手、口腔内を清潔にすることを行っているか、④一口ずつ嚥下を確かめているかなどの点を確認し、これらのことが実際にきちんと行われるように介護職員を教育・指導すべき注意義務があった。しかし、施設はそのような指導・教育を特に行わず、当該介護職員は①覚醒の確認は十分に行っておらず、②頸部を前屈させることも全く行っておらず、③手、口腔内を清潔にするということも全く行っていないので、施設は上記の注意義務に違反している、としました(松山地判H20・2・18)。

次号に続く



シリーズ
知っ得 なっ得 訪問介護編
① ヘルパーステーションえがお

こんにちは、えがおです。今回から、訪問介護に関する情報をお届けします。

ホームヘルパーは、在宅の高齢者・障害者宅を訪問し、身体介護サービス・家事援助サービスを提供するのが仕事です。ヘルパーが行う介助の中で、排泄介助、入浴介助、食事介助は三大介助と言われています。

● 排泄介助：……トイレ移動時の衣類の着脱、あと始末、オムツ交換等

● 入浴介助：……浴槽入浴・シャワーの介助、手浴、足浴、清拭、更衣介助等

● 食事介助：……食事を食べてもらったための介助

いづれも手伝う、介助すればよいというわけではありません。例えば排泄介助であれば、排泄物の状態(色・量等)の観察、入浴介助であれば、皮膚トラブル等がないかの身体チェック、食事介助であれば食べる速さ、量、食べる意欲等の変化を記録して、異常があれば速やかに事業所、ケアマネジャー、主治医に連絡するなどして、連携をとって

ます。早期発見により、予防につなげられるよう、常に見極める観察眼を持つて接する努力をしています。

家事援助では、調理・洗濯・掃除・買い物等がありますが、介護保険制度を利用していただいているため、いづれもご本人の食事・洗濯・ご本人のお部屋のみ掃除になります。

ヘルパーとしてご利用者に寄り添い、支援・援助をさせていただきます。ただし、ヘルパーとしてできないこともたくさんあります。ご理解、ご協力をお願いいたします。

次回是可以ること、できないことを、わかりやすくお知らせいたします。

ヘルパーステーションえがお
 西田 静香



健康チャレンジ
スタート集会

4月28日(木)新田地区公民館で「減塩料理教室」を行い、21人が参加しました。

「豚薄切り肉の野菜巻き」「フロッコリーのあんかけ」「豆腐入りだんご」を作りました。「こんなにおいしいのに塩分控えめとは思えない」という感想が聞かれました。

日本医療福祉生協連は、一日の塩分摂取量を6g未満にする「すこしお生活」をすすめています。少ない調味料でおいしく食べる工夫をして、健康的な食生活を心がけましょう。



ろっぽう投函箱

・時の流れが早すぎて我が命も残り少なし
 ・はらはらと命短き桜かな

九日市T生
 匿名

電話番号に関するお知らせ

3月25日より電話番号が下記のようにになりました。今まで通りでもつながりますが、事務局への電話は新しい番号をお使いください。

事務局 0796-24-7035
診療所 0796-24-7007(今まで通り)
なんなつと 0796-24-7015

募集

訪問看護師(パート)
 ヘルパー(登録・パート)
 訪問入浴看護師(パート)
 訪問入浴介護士(パート・有資格者)
 担当:和田・瀬渡まで
(TEL 24-7035)

ろっぽう診療所

〒668-0851 豊岡市今森465-1 ☎ 24-7007
 F 24-7010

介護事業所 えがお

〒668-0852 豊岡市江本396-1 101号・102号
 ☎ 24-7013
 居宅介護支援事業所えがお F 24-6154
 ☎ 24-6144
 訪問看護ステーションえがお F 24-6154
 ☎ 24-4731
 ヘルパーステーションえがお F 24-4733
 ☎ 34-9110
 訪問入浴サービスえがお F 24-4733

ろっぽう診療所 診療体制

内科・小児科・リハビリテーション科

	月	火	水	木	金	土
午前 9時~12時	○	○	○	○	○	○
午後	(往診)	(往診)	(往診) <small>(予防接種)</small>	(往診)	(往診) <small>(予防接種)</small>	/
夜間 5時~7時	/	/	○	/	○	/

受付時間 午前8時~12時 夜間4時~7時
 日曜・祝日休診

◆材料(4人分)◆

えび(ブラックタイガー) -----16匹
 にら-----50g
 ギョーザの皮(大) -----16枚
 {小麦粉-----大さじ1
 {水-----大さじ2
 玉ねぎ(大) -----1個
 ピーマン-----2個
 ごま油-----大さじ1杯
 サラダ油-----大さじ1杯半
 塩、こしょう-----少々
 酢じょうゆ1人(酢、しょうゆ小さじ2)



1人分 304K カロリー・蛋白質21.5g
 塩分 2.3g

◆作り方

- ①えびは尾1節を残して皮をむき、背ワタを除く。指先で軽くしごいて筋を切り、まっすべにのばして塩・こしょう各少々をふる。
- ②にらは4〜5cm長さに切る。
- ③ギョーザの皮を広げ、中央にえびとにらを等分にのせ、水溶き小麦粉を皮の縁にグルリとつけ、半分にたたんでとじる。
- ④玉ねぎ、ピーマンは縦2つ割にして5mmほどの輪切りにする。ごま油大さじ1で炒め、塩少々で調味する。
- ⑤フライパンにサラダ油1杯半をなじませて③を並べ、中火で焼き色がつくまで焼く。水100ccを加え、強火で蓋をして蒸し焼きにして火を通す。
- ⑥器に④を敷き、⑤を盛る。
- ⑦酢、しょうゆをつけて食べる。

「私のおすすり料理」②5
 赤みが透けておしゃれ!簡単!
えびギョーザ

管理栄養士 川戸宏子

シリーズ 水彩画廊② 若葉で覆い隠されて



車1台がやっと通れるこの狭い道は、向かって右側の宇日神社と左側の亀海寺の双方の木々の若葉で覆い隠されて、さながら緑のトンネルのようである。スケッチした時は時折雨がピリピリする曇った日で、日差しによるコントラストはほとんどなく、通りの隅々まで見ることができた。

しかし、日差しのきつい時なんかはそうはいかない。

明るい大きな通りからこの通りをのぞき込むと、出口がすぐそこに見える短いトンネルのようだ。そんな時、この道を歩いて通る。偶然に向こうから人がやってくる時がある。シルエットがどんどん近づいてきて、目が慣れた頃知り合いだと分かる。相手も同じようで

「あら！」
 「こんにちは」
 ひと言交わして
 「じゃあ」

知らない人だったりするとちょっぴり緊張しながらすれ違う。
 田村高志